

SEE-FIM protocol

しらみ つぶ 「蝨潰し」

院長 西 田 敬

数ある癌検診の中でも子宮頸癌検診は優等生。膈壁と頸部粘膜の境界、つまり扁平上皮と円柱上皮の接合点の細胞診のみ。羞恥心の他には被検者の苦痛は皆無で、且つ正確無比。卵巣癌検診は厳しい。超音波による卵巣サイズのチェックと余特異的でない腫瘍マーカー検査が一般的だが、其麼モンで良いん歟？

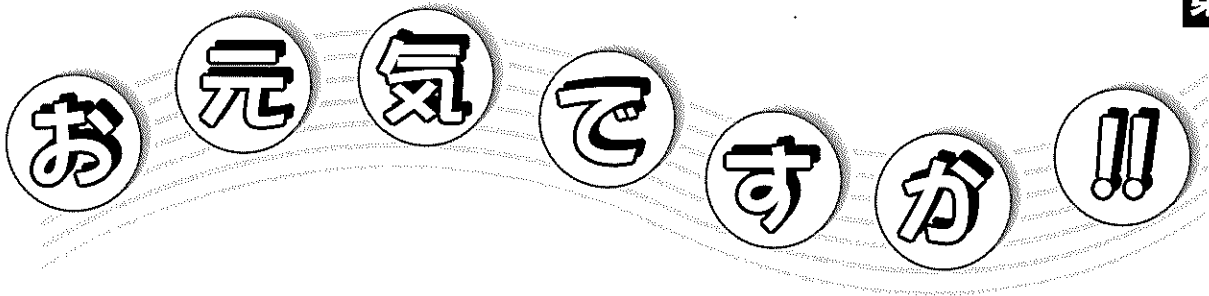
漿液性腺癌と云えば卵巣癌の中で最も多く、且つ侵襲性の高い組織型。然も、癌性腹膜炎が頭に為る迄は何ら症状を示さない。抗癌剤の奏効率や奏効期間が改善しても、それが治癒率向上に短絡的には繋らぬ。「寡黙なる殺し屋」と呼ばれる所以。前駆病変の様相なども全く不明で、手術時に露見した時には既に癡悪な顔付。この寡黙にして凶悪なる漿液性腺癌の供給源は卵巣自体の細胞ではなく、どうやら腫瘍化した卵管の分泌上皮らしいと云うから吃驚。真実ならば将に特記す可き世紀のトピックス。処が、流石にWHO、1973年に定めた組織分類の中で「卵管上皮に似た腫瘍を漿液性腫瘍」と記載。迅づくに定義していた。宣なる哉。似ている筈だよ、元々が卵管由来だもの。が、この原発病巣は、兎に角小さい。見つけ難く、稍もすれば見逃す可能性もある。

天網恢恢疎にして漏らさず。とは云うものの、「天道是か非か」当然の疑問も湧く。老荘の師に逆らうなんて滅相も御座らぬ見だが、獲物が小さい割に、網目が餘にも疎では、目零れして、獲漏らす懼れは御座らぬ歟。排卵された卵子を捕捉する為に、卵管は腹腔内で漏斗状に開口する。卵管癌は此の喇叭管にも似た卵管采部に発生する。通常、病変部のサイズが直径2mm程度もザラ。組織切出しにも一工夫が必要。卵管を味噌汁の薬味の葱みたいに木口切りにしたのでは採零す懼れがある。Brigham and Women's病院の病理医Mendeiros Fは卵管采 (Fimbria) を病理学的に蝨潰しに探索できる切出し法を2006年に編出した。即ち、卵管を輪切りにするのではなく、卵管采の部分で長軸方向に平行な2mm間隔の全割切片を作製した(SEE-FIM protocol)。

卵管病変を狙ってのSEE-FIM切出し法の靈験は灼だつた。従来より卵管と謂えば、子宮外妊娠では堂々の主役を張るが、腫瘍分野では肩身が狭く、稍もすれば不当に軽視される嫌いもあった。発生頻度が全付属器癌の0.1%~3%に過ぎないと見縊られていたから無理もない。然し、状況は一変。シカゴ大学でこの切出しプロトコールに従って2006年以降の卵管癌の頻度を調べた結果は驚天動地。2007年では発生頻度が15%以上に跳ね上った。卵巣の漿液性腺癌はもとより、由来不明とされていた骨盤内腹膜や大網などの漿液性腺癌の供給源と見做せる。斯くして、腫瘍分野に於ける卵管の地位は猛躍進。So what?

だからと云って所謂卵巣癌の難しさは同じ。初期病変と卵巣のサイズは無関係。卵管采内の僅か、φ2mmの病変はたとえPETでも描出困難。然すれば早期発見は当面、矢張り難しかろう。予後改善への具体策は高リスク群(変異BRCA遺伝子保持者)に対する予防的卵管切除。勿論、摘出した卵管采は蝨潰しに組織検査。異常発覚の場合は躊躇わずに再開腹を敢行するのが宜しかろう。





外科と漢方—春の予感—



外科部長 田尻 鉄郎

“東風吹かば 匂ひをこせよ 梅の花
主なしとて 春な忘れぞ”

このコラムが連載される頃にはすでに桜も見頃となっていることでしょう。道真公の時代も現代も、春を予感することには事欠かないですね。

冬至→小寒→大寒→立春→雨水→啓蟄→春分。
暦の移り変わりの中で貴方は何を感じますか？
虫おこし、花おこし、忘れ雪…

春にまつわる言葉は沢山ある。我が国の、そして日本語の美しさです。それほど昔からこの季節が待ち焦がれるべきものであったかが推察できます。漢方医学の出典（医学書）にも「万病回春」なる書があり、春を取り戻す＝健康を、または青春を取り戻す？ということ？とにかく喜ばしい思い入れがあるのでしょう。もちろんそれを現代でも体感できる。車を運転したり、電車で旅行をしたりしていると、窓から流れ込む春風を心地よく感じる。久大線沿線に咲く菜の花の色を眺めていると癒される毎日です（僕はJR通勤）。とにかく気分がいい♪と僕は思っています。春とは美しいだけでなく、心躍らされる季節でもあります。

一方で、時代が変われば、春の感じ方も様々です。「春は嫌いです！」こんな輩もいる。まあ確かに頷ける。現代には、「花粉症」なるものがありますね。昔は、といっても、だいたい40年くらい前までは、花粉症がこうも騒がれることはなかった。僕の子供の頃は、いわゆる「アオバナ」たらしめているガキ大将が多かった（僕もその一人でした…）。家は隙間風が吹くようなあばら家が多かった。現代ではむしろそんな家が珍しい。家が進化をしていっ

たことで、ハウスダストに暴露される時間が長くなった。そんなこの40年の間に花粉症も増加してきました。時代とともにアレルギー疾患（体に不利な免疫反応）が増加しているというのも、大気汚染の進行に身体がついていっていないことの表れなのかもしれませんね。

アレルギーにも色々あります。特にこの時期は杉花粉や、寒冷によるアレルギー性鼻炎が多いのではないのでしょうか。せっかく春がやってきたのに、鼻水が止まらず、鼻かんでばかり…そりゃ春をつらく感じることでしょ。

暦では春が来たからと言って、衣替えを始める方々があります。実際はまだ朝晩の冷え込みもあるのに…。朝晩が冷え込むと、当然身体も冷えます。冷えた身体の防御力というのはとても弱い。低体温の方々ご注意ください。

漢方医学にアレルギーの処方、残念ながらありません。しかしながら、症状を緩和する処方があります。昔は、アレルギーなんてなかった頃からある処方ですから、用途は少し違ったのでしょう。でも、現代においては花粉症等の症状緩和にも効果があることが経験的にわかっています。漢方薬のみで緩和できるものではないと思いますが（漢方だけでも緩和できる方もいらっしゃいます）、他の薬と併用することによって、少しでも症状が緩和されればと思います。

春の感じ方、春の予感は、人それぞれです。でも、やっぱり春というのは心地よい季節であってほしい。少しでもそう感じてくれる人が増えるような、お力添えができればと思います。



栄養部だより

済生会日田病院
栄養部

第1回 花粉症を防ぐ食事と生活

栄養部技士長 瀬口 是美

今年度は、栄養部が季節の暮らしに応じた食事についてお勧めのメニューと共に紹介させていただきます。

春はもっとも花粉の飛散が多い季節ですね。花粉症を含むアレルギー疾患の発症や病態には「免疫反応」の働きが大きく関係しています。体の中には病原菌から体を守る免疫細胞（Th1）とアレルギー反応を引き起こす免疫細胞（Th2）があります。この二つの細胞はお互いに数を抑制しあっていて、現代のように環境が清潔になってくると感染防御に働く機会が減ってTh1が減り、その結果Th2が増えてしまいます。Th2はアレルギー発症の原因物質であるIgE抗体（免疫グロブリンE）を産生しアレルギー症状を発症します。IgE産生を促進するような食事を避け、免疫機能を整えて自律神経のバランスを保つことである程度花粉症の予防は可能です。日々の暮らしの中で心がけてみませんか。

●食事と生活の心がけ

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| ① 質素な食事の心がけ | 高カロリー、高脂肪食を避けて魚・野菜を積極的に食べる |
| ② 手作り食を心がける | 加工食品やインスタント食品は控えて手作りで |
| ③ 自律神経のバランスを整える | 適度な運動・ストレスをためない・規則正しい生活 |
| ④ 腸の環境を整える | 乳酸菌（ヨーグルトなど）、食物繊維を積極的にとる |

●食品と栄養素の選び方

- ① 動物性の脂肪はIgE産生を促進します。脂肪の多い肉類、レバー、モツ類を控える
- ② 魚の油（DHA、EPA）はアレルギー性の炎症を和らげる働きがあります。特にアジ、サワラ、サバ、イワシなどの青背の魚にDHA、EPAは多く含まれています
- ③ ビタミンA・E・Cは抗酸化作用が高くアレルギーの予防効果があります
緑黄色野菜（緑・赤・黄色の野菜を組み合わせる）、果物、新鮮な植物油、ゴマやナッツ類
※レバーはビタミンAが多いのですがIgE産生を促進する可能性が高く要注意です

お勧めメニュー

サバとターツアイのピリ辛みそ煮（材料2人分）

- | | |
|-------|-------------------------------------|
| サバ | 160g（2～3cm幅に切って、皮に切り目。酢少量を加えた熱湯に通す） |
| ターツアイ | 150g（3cm長さに切る） |
| ごぼう | 100g（3mm厚さの斜め切り） |

- ① 鍋に水2/3カップ+酒・みりん各大さじ3+みそ・砂糖各大さじ1+しょうゆ小さじ1+豆板醤小さじ半分+生姜の干切り適量を加えて火にかける
- ② 鍋が煮立つ直前に、サバとごぼうを加えて落しぶたをして10分くらい煮る
- ③ ターツアイを加えて煮汁をなじませる。ターツアイがしんなりしたら出来上がり

一人分の栄養（263kcal・塩分1.9g）

Qスイッチ ルビーレーザーのご案内

形成外科では、非常勤医師が週1日の診療を行っていましたが、平成22年5月から常勤医師が勤務しています。今回、医療レーザーを整備しました。

レーザー治療とは

当院では、皮膚のメラニン色素異常に対するレーザー治療を開始しました。Qスイッチルビーレーザーは、様々なシミやあざを治療する強力なレーザーです。レーザー光は、ある特定の色素に反応し吸収される性質があります。ルビーレーザーは、皮膚内部のメラニン色素を効果的に破壊することに優れています。傷跡を残さずに、メラニン色素のみを破壊しますので、周囲の正常な皮膚を傷つけることはありません。

□レーザー照射時の痛みは、輪ゴムをはじいた程度の痛みです。

□外来通院で治療ができます。

□個人差がありますが、浅いシミや小さなホクロなどは1回の治療で済みます。深いシミやあざなどは、2~3か月以上の間隔で平均3~5回の治療を行います。

□1回の照射は一瞬なので、小さなホクロなどは1~2分程度、大きなあざは15~20分程度で終了します。

□妊娠中はホルモンの影響でシミが濃くなりやすいので、出産後に治療を受けることをお勧めします。

適応疾患

深在性色素疾患

……太田母斑、異所性蒙古斑、外傷性色素沈着症、ほくろ、刺青等

表在性色素疾患

……老人性色素斑、そばかす、扁平母斑等

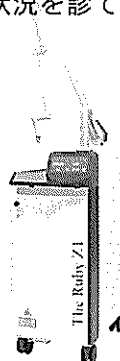
受診の仕方

まず一度受診していただき、疾患の状況を診て予約状況等を確認後、照射計画を立てます。月・水・金曜日の午前診療のみです。

料金

保険適用外の場合、通常料金1cm平方あたり3,000円その他、初診、再診料、投薬料等が発生します。

※シミやあざの種類・状態により、治療時間や回数は変わってきます。お気軽にご相談ください。



平成24年度上半期巡回診療事業計画のお知らせ

地区名	時間・場所	H24					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
東羽田高花	高花公民館 1:45~3:15	10(火)	15(火)	12(火)	10(火)	7(火)	11(火)
		24(火)	29(火)	26(火)	24(火)	28(火)	25(火)
古 後	古後生活改善センター 1:45~3:15	17(火)	22(火)	19(火)	17(火)	21(火)	18(火)

※身体のごことでお悩みの方は、お気軽にお出でください。

*健康保険証、医療受給者証(または高齢受給者証)を持参してください。

*病院の窓口で現金をお支払いいただくと同様に有料です。

済生会日田病院の「理念」と「基本方針」

理念

「済生」の心を受け継ぎ、医療と福祉の充実・発展を通して、安心して暮らせる地域社会の実現に貢献します。

基本方針

1. 生活困窮者支援事業を推進します。
2. 信頼される救急医療体制を構築します。
3. 関係機関との連携を図り、高度医療を提供します。
4. 職員の協調と信頼によって、チーム医療の充実を図り、患者本位の医療を実践します。
5. 中核病院として、地域の医療水準の向上に努めます。
6. 総合的な医療の質の管理を行い、健全経営を目指します。

患者の権利と義務

1. 最善で安全な医療を平等に受ける権利があります。
2. 個人として、その人格や価値観が尊重される権利があります。
3. 自己の病気や治療について、説明を受ける権利があります。
4. 自ら治療方法を選択する権利、また自ら治療を拒否する権利があります。
5. 治療に当たり症状を正確に告知する義務があります。
6. 医師の指示に従い、病院の規則を遵守する義務があります。
7. 診療費を支払う義務があります。